



県立牧野植物園磨き上げ整備基本構想の概要

《環境共生課》

構想策定の目的

「世界に誇れる総合植物園」として、牧野植物園のポテンシャルを最大限発揮し魅力を高めるため、磨き上げを実施する

牧野植物園のポテンシャル：①五台山の立体的な地形を活かした植物展示 ②牧野博士の植物図や植物標本などのお宝 ③植物研究

園の現状と課題

現状：総合植物園として、展示、教育普及、研究等の活動を行っているが、来園者は平成20年度の約20万人をピークに減少傾向にある

課題：今後取り組むべき課題として、来園者数の増加、憩いの場や学習スペースの拡大、貴重資料の公開機会の拡大、研究成果の産業面での活用、研究内容の可視化、園内のサインや展示植物等の解説の充実、園内のバリアフリー化、南海トラフ地震対策等が挙げられる

磨き上げの目標

3つの拠点機能を備える総合植物園として世界に誇れる「MAKINO」を目指す

3つの拠点機能

◆ 県民の誇り(シビック・プライド)の拠点

・県民が心から素晴らしいと思い、郷土の誇りとなる植物園とすることで、県外や国外の方々にも愛され、来園いただける植物園

◆ 知(イノベーション)の拠点

・植物園の研究者と外部の研究者が集い、内知と外知が響き合うオープンイノベーションを構築することで、未知の価値を創出し、世界に発信する研究型植物園

◆ 宝の人材を育成する(エデュケーション)拠点

・貴重な植物資源や植物の専門知識、牧野博士の植物図や植物標本などを有効活用することで、子どもたちが植物に親しみながら自然を大切に思う心や探究心を育むことができる植物園

貢献

観光振興への貢献

多くの観光客の皆様に来園していただく

産業振興への貢献

植物分類学や有用植物学の研究成果を活かす

教育への貢献

第2、第3の牧野博士が育つような教育

整備内容

開園60周年(平成30年)に向けて

(仮称)ファミリー園 憩いの場

- ・子どもから大人まで植物に囲まれて自由に走り回ることができる芝生広場
- ・眺望を活かした展望デッキ
- ・コンサート等のイベントに対応する野外ステージ
- ・四季折々のフラワーイベントの開催



(仮称)スタディ園 学びの場

- ・子どもたちが植物に触れる機会を増やす参加、体験型の学習プログラムを実施
- ・一般の来園者も植物を手に取り、植物の有用性について学ぶことができる場
- ・学校の校外学習に対応する学び舎



夜間照明設備の新設

- ・南園、温室及びファミリー園に照明を常設し、夜間イベントの実施により若い世代の来園や観光客の宿泊を促す
- ・夜間開園の拡充
(現在10日程度→60日程度/年)



平成31年度以降の中期整備目標

お宝の展示・VR(既存展示スペースを改修)

■VR・8K(4K)映像

- ・ヴァーチャルリアリティの圧倒的な臨場感と没入感で、牧野博士が作製した標本や植物図の世界をバーチャルに体験し、植物の神秘に迫ることができる場
- ・驚異的な技で描かれた牧野博士の植物図や四季を通じた植物の様子を高精細かつ臨場感あふれる映像で紹介



■お宝展示

- ・牧野博士が収集、作製した植物図や植物標本などの貴重なコレクションを常設で展示できるスペースの整備
- ・来園者に本物に触れていただく機会の拡充
<収蔵品> 牧野博士の植物図：約1,700点
植物標本：約5,500点 他
- ・企画展として、世界の植物園との交流による展示などを実施

植物コレクションの展示の充実

■台湾産ツツジ属植物

- ・学術上、集客上有効な貴重コレクションを園内に植栽展示

(仮称)新研究棟の整備

資源植物研究センターを建て替え、機能を充実

■オープンリサーチセンター

- ・研究領域の枠を取り払う(植物分類学と有用植物学を結集)
- ・外部研究者との交流を進める(外部利用可能な研究室、共同研究)
- ・子どもたちなど一般に開放する(子どもラボ、見学スペース)

■利便施設の再配置と周辺エリア動線の見直し

- ・眺望を活かしたレストラン、ショップ等の配置(くつろぎ空間)
- ・ファミリー園、南園、駐車場を結ぶ動線、南門の位置の見直し

五台山の振興

■竹林寺、五台山公園と連携した取り組みの実施

- ・竹林寺と植物園の相互交流の空間づくり(駐車場、休憩スペース)

駐車場対策・狭隘道路の解消

- ・既存の駐車スペース見直しによる駐車台数の増加
- ・竹林寺との間の狭隘道路拡幅による来園者の安全確保

南海トラフ地震対策

■長江圃場の津波浸水対策

- ・バックヤードとして希少種や貴重な植物を保存している長江圃場の津波対策を検討し、順次実施

他の整備に合わせて効果的に実施

バリアフリー化、サイン改善等

- ・園路(傾斜路、階段)のバリアフリー化の推進
- ・ベンチや休憩所などの設置
- ・分かりやすい案内表示への改善、多言語表記

広報

- ・お客様を呼べる活動内容を精査し、HP、SNS等で発信
- ・ターゲットを明確にし、磨き上げの目標に沿った情報発信
- ・旅行会社に対する観光コースの提案
- ・旅館やホテル、タクシー運転手等への説明会、内覧会の開催

園内ガイド、運営体制

■ガイド機能の強化ほか

- ・植物の魅力、価値を伝える音声ガイド等のガイド導入(Wi-Fi活用)
- ・職員の専門性を活かしたガイドツアーの定期開催
- ・運営体制の充実によるお客様満足度の向上